



G 7 保健分野の主な成果

2023年6月
外務省国際保健戦略官室

G7 広島サミットの日程と参加者

日程 2023年5月19日（金）～21日（日）

参加者 **G7メンバー**：日、伊、加、仏、米、英、独（議長国順）の7か国首脳
並びに欧州理事会議長及び欧州委員会委員長

招待国：豪州、ブラジル、コモロ（アフリカ連合（AU）議長国）、クック諸島（太平洋諸島フォーラム（PIF）議長国）、**インド（G20議長国）**、インドネシア（ASEAN議長国）
韓国、ベトナム（※別途ゲストとして、ウクライナも参加。）

招待機関：国連、国際エネルギー機関（IEA）、国際通貨基金（IMF）、
経済協力開発機構（OECD）、**世界銀行**、**世界保健機関（WHO）**（オンライン参加）、
世界貿易機関（WTO）



議題	出席国
5月19日（金）	
1) 分断と対立ではなく協調の国際社会へ／世界経済	G7メンバー
2) ウクライナ	G7メンバー
3) 外交・安全保障	G7メンバー
5月20日（土）	
4) パートナーとの関与の強化（グローバル・サウス、G20）	G7メンバー
5) 経済的強靱性・経済安全保障	G7メンバー
6) 複合的危機への連携した対応	G7メンバー、招待国・機関
グローバル・インフラ投資パートナーシップ（PGII）サイドイベント	G7メンバー、招待国の一部、民間企業代表
7) 持続可能な世界に向けた共通の努力	G7メンバー、招待国・機関
5月21日（日）	
8) ウクライナ	G7メンバー、ウクライナ
9) 平和で安定し、繁栄した世界に向けて	G7メンバー、招待国、ウクライナ



G 7 保健分野の全体像

G 7 広島首脳コミュニケ

G 7 首脳の合意文書、保健はパラ 3 3 ~ 3 5

感染症危機対応医薬品等（MCM）への
公平なアクセスのためのG7広島ビジョン

G 7 首脳として発表

グローバルヘルスのための
トリプルI

G 7 首脳として承認

G 7 長崎保健大臣宣言

G 7 保健大臣の合意文書

G7 UHCグローバルプラン

G 7 長崎保健大臣宣言の附属文書
(G7広島首脳コミュニケでも言及)

財保連携強化及びPPRファイナンスの強化に関するG7共通理解

G 7 財務大臣・保健大臣合同会合における成果文書
(G7広島首脳コミュニケでも言及)



G 7 保健分野の三本柱

1. グローバルヘルス・アーキテクチャーの構築・強化



2. より強靱、公平、持続可能な
ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ
達成への貢献



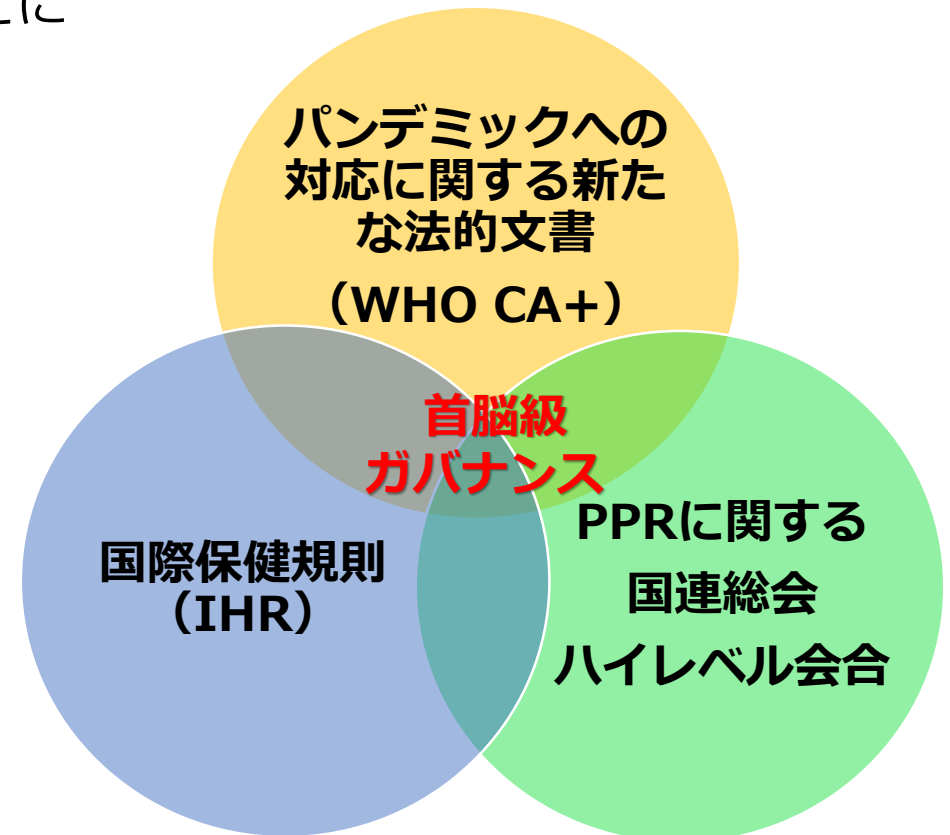
3. ヘルス・イノベーションの促進



1. グローバルヘルス・アーキテクチャーの構築・強化

ガバナンス

G7として、正当性、代表制、公平性、有効性を確保した、パンデミックの予防・備え・対応（PPR）のために、**より協調的で持続的な首脳級ガバナンス**に向けた政治的モメンタムを更に高めていくことにコミットすることを確認。





1. グローバルヘルス・アーキテクチャーの構築・強化

ガバナンス

G7広島首脳コミュニケ

「我々は、COVID-19のパンデミックが国際社会に前例のない影響を与えたことを認識し、パンデミックと無視の連鎖を断ち切るため、将来の公衆衛生上の緊急事態に備え、世界保健機関（WHO）を中核としつつ、グローバルヘルス・アーキテクチャー（GHA）を発展させ、強化することへの強いコミットメントを新たにす。この目的のために、我々は、WHOの主導的役割を強調しつつ、重複を回避し一貫性を確保するため、パンデミックへの対応に関する新たな法的文書（WHO CA+）、国際保健規則（IHR）の部分改正及び2023年9月のパンデミックの予防・備え・対応（PPR）に関する国連総会ハイレベル会合を含む進行中の議論に留意しつつ、**正当性、代表性、公平性及び有効性を確保する、保健分野の緊急事態のPPRのための、より協調的で持続的な首脳級のガバナンスに向けた政治的モメンタムを更に高めることにコミットする。**」

G7長崎保健大臣宣言

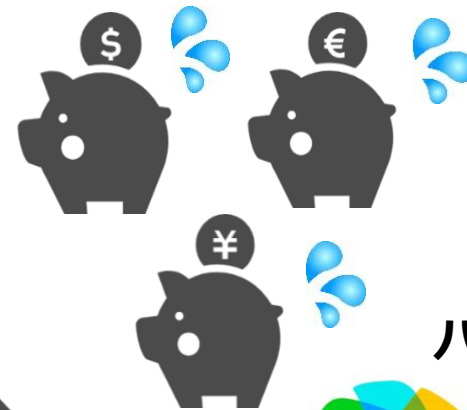
「我々は、**科学に基づく意思決定による正当性、優先順位選択、及び有効性ととともに、すべての国や関係者にとっての公平性及び代表性を確保できるよう、2023年9月のパンデミックPPRに関する国連総会ハイレベル会合を見据えて、あらゆるレベルでより協調的、持続的で強力なガバナンスに向けて政治的関与を強化することを呼びかける。**」

1. グローバルヘルス・アーキテクチャーの構築・強化

ファイナンス

G7として、「財務・保健の連携強化及びPPRファイナンスに関するG7共通理解」に基づいて財保連携強化やパンデミック基金、サージファイナンス等の資金面の取組を一層推進していくことを確認。

サージ・ファイナンス



財保連携



パンデミック基金



**The
Pandemic
Fund**
FOR A RESILIENT WORLD



1. グローバルヘルス・アーキテクチャーの構築・強化

国際規範及び規則の強化

G7として、公平性（equity）を指針としてWHO CA+の交渉及び国際保健規則部分改正に関する交渉に、全てのステークホルダーと共に貢献し、そのモメンタムを維持していくことを確認。



保健医療人材

G7として、健康危機管理部隊（GHEC）の検討を含む公衆衛生及び健康危機時の人材などの、十分かつ質の高い保健医療人材を世界中で常に強化し、維持していくことの重要性を確認。





2. より強靱、公平、持続可能なUHC達成への貢献

様々な保健課題への対応

G7として、**パンデミックによって大きく後退した様々な保健課題**に対応する上で、UHCの不可欠な役割を再確認。

- ◆ 感染症
 - ✓ HIV/AIDS、結核、マラリア
 - ✓ 顧みられない熱帯病(NTDs)
 - ✓ ポリオなど
- ◆ 非感染性疾患 (NCDs)など
 - ✓ メンタルヘルス
 - ✓ 栄養
 - ✓ 水・衛生(WASH)など
- ◆ ライフコース課題
 - ✓ 母子保健
 - ✓ SRHR(性と生殖に関する健康と権利)
 - ✓ 健康的な高齢化
- ◆ 薬剤耐性(AMR)対策

2. より強靱、公平、持続可能なUHC達成への貢献

国際保健への官民資金貢献

- ✓ G7として、UHCの達成を含む国際保健への貢献のため、**官民合わせて480億ドル以上の資金貢献**を表明するとともに、更なる国内資金動員と民間投資の拡大を呼びかけ。



G7広島サミット議長国記者会見（2023年5月21日）

「我々は、ポストコロナの時代に向けた国際保健に貢献するため、UHCの達成を支援し、PPRを強化する観点から、**我々は、官民合わせて480億ドル以上の資金貢献を強調する。**」

（G7広島首脳コミュニケ）

国際保健については、G7全体として資金貢献を行っていく中で、**日本は、グローバルヘルス技術振興基金（GHIT）への2億ドルのプレッジを含め、2022年から2025年までに官民合わせて75億ドル規模の貢献を行う**考えを示した。

2. より強靱、公平、持続可能なUHC達成への貢献

国際保健における既存機関等の緩やかな連携の重要性

- ✓ グローバルヘルス・イニシアティブの将来(FGHI)



セッション6: 複合的危機への連携した対応

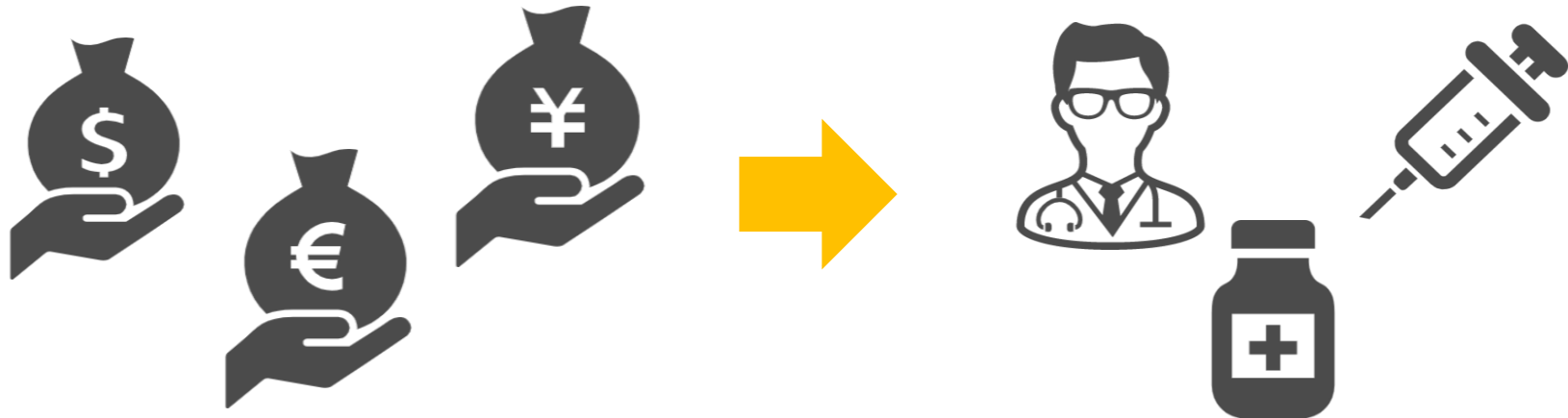
「我々は、**グローバルヘルス・イニシアティブ**とそのインターフェースを含む国際保健のパートナーシップの包摂的かつ制度レベルの調整と整合化の必要性が高まっていることを認識しつつ、国際保健におけるガバナンスを強化し、UHCの達成を支援する観点から、断片化及び重複を避け、説明責任を果たし、その効果を最大化し、各国のリーダーシップを強化するための共同の行動を取る。この観点から、**我々は、「Future of Global Health Initiatives」の成果を期待する。**」

(G7広島首脳コミュニケ)

2. より強靱、公平、持続可能なUHC達成への貢献

「グローバルヘルスのためのトリプルI」

- ✓ G7として、インパクト投資を推進するための「グローバルヘルスのためのトリプルI(インパクト投資イニシアティブ)」を承認。



「G7 UHCグローバルプラン」

- ✓ G7として、「G7 UHCグローバルプラン (G7 Global Plan for UHC Action Agenda)」を発表するとともに、財政、知見の管理、人材を含むUHCに関する世界的なハブ機能の重要性に留意。



G7長崎保健大臣会合

3. ヘルス・イノベーションの促進

パンデミックに対応するための研究開発の促進

- ✓ G7として、薬剤耐性（AMR）による「サイレント・パンデミック」を含むパンデミックに対応するための研究開発（R&D）を促進し、2024年のAMRに関する国連総会ハイレベル会合に向けて、抗菌薬の研究開発を加速させるため、プッシュ型及びプル型のインセンティブを検討し、実施していくことを確認。



感染症危機対応医薬品等（MCM）への公平なアクセス

- ✓ G7として、「感染症危機対応医薬品等（MCM）への公平なアクセスのためのG7広島ビジョン」を発表し、その原則に基づき「MCMに関するデリバリー・パートナーシップ（MCDP）」を設立。

広島ビジョンの

- ◆ 公平性
- ◆ 包摂性
- ◆ 効率性
- ◆ 負担可能性
- ◆ 質
- ◆ 説明責任
- ◆ 機動性
- ◆ 迅速性

MCMへの公平なアクセスのために：G7の取組とパートナーとの協力

G7保健（広島サミット及び長崎保健大臣会合）成果

◆ヘルス・イノベーションの促進によって保健課題に対処するため、首脳コミュニケの関連文書として「**感染症危機対応医薬品等(MCM)への公平なアクセスのためのG7広島ビジョン**」を発表。

- G7は、健康危機における感染症危機対応医薬品等(MCM)への公平なアクセスに向けて取り組むというコミットメントを確認。
- G7は、エンド・ツー・エンドの世界的なエコシステムの強化を通じ、MCMへの公平なアクセスを促進するための具体的な行動につながる、世界保健総会、国連総会、G20、WHO CA+及び他の関連するフォーラムにおける更なる議論を支持する。多様な関係者との関連する協議を活用して、G7は、以下を含む指針となるべき原則を、鋭意、推し進める。
1. 公平性, 2. 包摂性, 3. 効率性, 4. 負担可能性, 5. 質, 6. 説明責任, 7. 機動性, 8. 迅速性
- G7は共に、持続可能で公平な未来を支持し、パンデミックにおけるMCMへの公平なアクセスのための本ビジョンを実現するために、連携してかつ幅広いパートナーと共に取り組むことにコミット。

◆さらに、G7は、広島ビジョンの原則に基づき「**MCMに関するデリバリー・パートナーシップ(MCDP)**」を設立し、参加した国々と機関に連携を呼びかけた。

- G7メンバーとWHO、UNICEFを含む関係国際機関は、G7サミット後の議論を進めるに当たっての基礎として、MCDPコンセプト・ノートを作成。

G7サミット後のマイルストーン（予定）

5月	6月	7月	8月	9月
5/19-21 G7広島 サミット	5/25 ヨハネスブルグ フォローアップ会合	6/4-6 第3回G20保健 専門家会合	8/17-19 第4回G20 保健専門家会合 ・同保健大臣会合	8/17-19 国連総会 9/9-10 G20 ニューデ リーサミット 9/20 PPRハイレベル会合 9/21 UHCハイレベル会合 9/22 TBハイレベル会合
	6/12-16 WHO CA+ 起草グループ会合	7/17-21 WHO CA+ 第6回政府間交渉会議 (INB6)		9/4-6 WHO CA+ 起草グループ会合

G7保健（広島サミット及び長崎保健大臣会合）成果



人々の健康のみならず、世界全体の社会、経済、安全保障に甚大な影響を与えた新型コロナのパンデミックの教訓が忘れ去られる前に、将来のパンデミックをより良く予防・備え・対応（PPR）できるよう、国際社会の体制を強化し（①**グローバルヘルス・アーキテクチャー（GHA）**）、全ての人の健康を確保し（②**ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）**）、イノベーションの力（③**ヘルス・イノベーション**）を最大限活用する。そのため、国際保健のリーダーとして、**G7の一致した決意と行動を示し、世界全体に貢献していく。**

1 公衆衛生危機対応のためのグローバルヘルス・アーキテクチャーの構築・強化

- 本年9月の国連PPRハイレベル会合等を見据え、WHOの主導的役割を確認しつつ、**より協調的で持続的な首脳級ガバナンス**に向けた政治的モメンタムを更に高めていくことにコミット。
- 財務・保健大臣合同会合で承認された「財保連携強化及びPPRファイナンスの強化に関するG7共通理解」の下、財保連携強化やパンデミック基金、サージファイナンス等の資金面の取組を一層推進。
- 公平性を指針とし、いわゆるパンデミック条約作成及び国際保健規則改正の交渉において**全ての関係者と共に貢献することを表明**。
- 健康危機管理部隊（GHEC）の検討を含む十分かつ質の高い保健医療人材の強化・維持の重要性を確認。

2 より強靱、より公平、より持続可能なユニバーサル・ヘルス・カバレッジ達成への貢献

- **新型コロナ対応により後退した従来からの保健課題への対応の推進**を確認。
 - 感染症（HIV/AIDS、結核、マラリア、顧みられない熱帯病（NTDs）、ポリオ等）、非感染性疾患等（メンタルヘルス症状、栄養、WASH等）、ライフステージに応じた保健課題（母子保健、SRHR、健康な高齢化等）、薬剤耐性（AMR）など
- 国際保健への貢献、国内資金動員拡充及び国際保健への民間投資拡大のため、サミットで**資金貢献を表明**
 - **G7として官民合わせた480億ドル以上の資金貢献**（日本は、政府による**グローバルヘルス技術振興基金（GHIT）への2億ドルのプレッジ**を含む2022年から25年までの官民合わせた**75億ドル規模の貢献**）
- 国際保健への**インパクト投資**を奨励するイニシアティブ「**グローバルヘルスのためのトリプルI（Triple I for Global Health）**」を広島サミットで承認。
- G7のUHC達成に向けた具体的行動を長崎保健大臣会合で「**G7 UHCグローバルプラン（G7 Global Plan for UHC Action Agenda）**」として発出し、広島サミットで承認。財政、知見の管理、人材を含むUHCに関する**世界的なハブ機能の重要性**に留意することで一致。

3 様々な健康課題に対応するためのヘルス・イノベーションの促進

- パンデミックやAMR等への対応のための研究開発（R&D）促進など、**ヘルス・イノベーションを一層推進**。**AMR**に関し、来年の国連AMRハイレベル会合も見据え、**R&Dへの市場インセンティブ導入の必要性**を確認。
- サミットで「**感染症危機対応医薬品等（MCM）への公平なアクセスのためのG7広島ビジョン**」を発表。研究開発や製造からデリバリーまでバリューチェーン全体をカバーする**エンド・ツー・エンドなエコシステムに係る原則**を打ち出し、「**MCMに関するデリバリー・パートナーシップ（MCDP）**」を立ち上げ。

主な成果

（赤字は広島サミットで初出）

首脳級ガバナンスに向けた政治的モメンタムの強化

財保連携強化及びPPRファイナンスの強化に関するG7共通理解

480億ドル以上の官民資金貢献
（日本の貢献は政府によるGHITへの2億ドルのプレッジを含む75億ドル規模）

G7 UHCグローバルプラン

グローバルヘルスのためのトリプルI

MCMへの公平なアクセスのためのG7広島ビジョン

MCMに関するデリバリー・パートナーシップ（MCDP）



各種HP及び文書

G7 広島サミットと成果文書等



https://www.mofa.go.jp/mofaj/ms/g7hs_s/page1_001673.html



G7長崎保健大臣会合と成果文書等

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hokabunya/kokusai/g8/g7health2023.html>

